

日本気管食道科学会より

『咽頭喉頭食道全摘術の再建法と治療成績に関する全国調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

咽頭喉頭食道全摘術は、外科や耳鼻科が合同で行う非常に大きな手術であり、切除後の再建にはいくつかの方法がありますが、どの方法がよいのか、一定の見解はありません。両科にまたがる学会主導で、本邦における頸部食道癌の治療の実態を明らかにすることを目的として、カルテデータを用いた全国多施設共同研究を行います。

➤ 研究（調査）の方法

2009年1月1日から2018年12月31日において咽頭喉頭食道全摘術を施行された患者さんのカルテデータから個人情報を除いた必要な情報を抽出し、中央集計したのち解析を行います。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定専門医研修施設および食道外科専門医認定施設

➤ 調査期間

理事会承認日～2年間

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究であり、新たな負担や不利益は一切ありません。

➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない患者さんは主治医にその旨をお伝えください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：渡邊雅之（がん研究会有明病院 消化器外科・食道外科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp